

TOTO

洗面所暖房機

TYR1024BE型/TYR1024BF型

- 商品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
- 同梱以外のリモコンを設置する場合は、本商品設置の前に必ず各リモコン専用の設置説明書をご覧ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	一般禁止
	分解禁止
	回転物注意
	必ず実行
	アース線を必ず接続せよ

警告	
指定する電源(単相AC200V)以外では使用しない	
火災・感電の原因になります。	
ファンやヒーターにさわったり、物を差し込まない	
感電、けが、やけどの原因になります。	
浴室など湿気の多いところには設置しない	
火災、感電の原因になります。	
温風吹き出し方向に化粧台キャビネットや洗面所用ランドリーパイプなどの障害物を配置しない	
火災、やけどの原因になります。	
絶対に分解したり、修理、改造は行わない	
火災、感電、けがの原因になります。	

警告

《工事における注意事項》

- ・電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う。
- ・電源線はφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。
- ・より線は使用しない。
- ・圧着端子の接続には、それぞれの端子に合った、JISに定められた専用圧着工具を使用する。
- ・電源線は確実に接続、固定する。また差し込み不足に注意する。
- ・改造は絶対にしない。
- ・電源線を束ねたまま配線しない。
- ・ねじ止め時は、インパクトドライバーを使用しない。

《工事前の確認項目》

- ・電気工事は必ず分電盤の洗面所暖房機用ブレーカーを切って行う。
- ・電源電圧を間違えないように注意する。
- ・電源線を束ねたまま配線しない。
- ・電源線など、機器の配線は、発熱する器具(ダウンライト等)から離して設置する。
- ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属張りの木造建築に電源線等が貫通する場合は、電氣的に接触しないように取り付ける。
- ・屋内配線はφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。
- ・より線は使用しない。接続が不十分だと火災のおそれがあります。

《設計・設置上の確認項目》

- ・分電盤に漏電遮断器を設ける。
- ・機器容量にあった専用ブレーカーを取り付ける。
- ・電力会社との契約電圧容量が不足している場合は、追加工事を行う。

アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事はお近くの工事店に依頼してください。

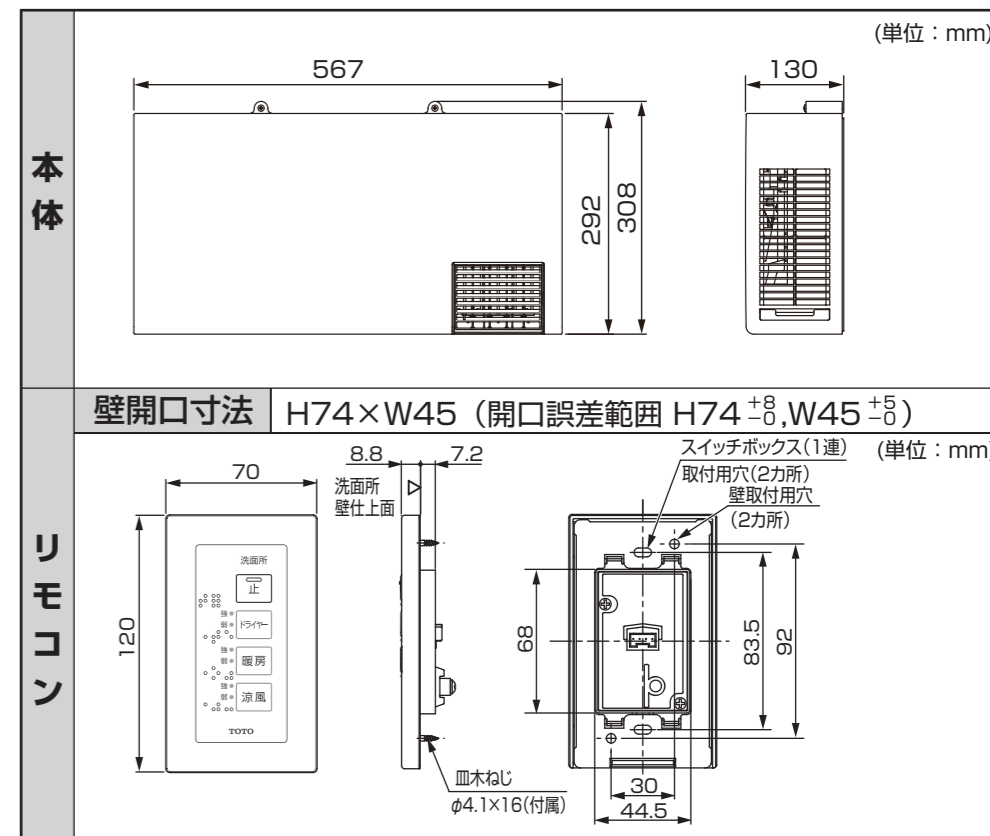
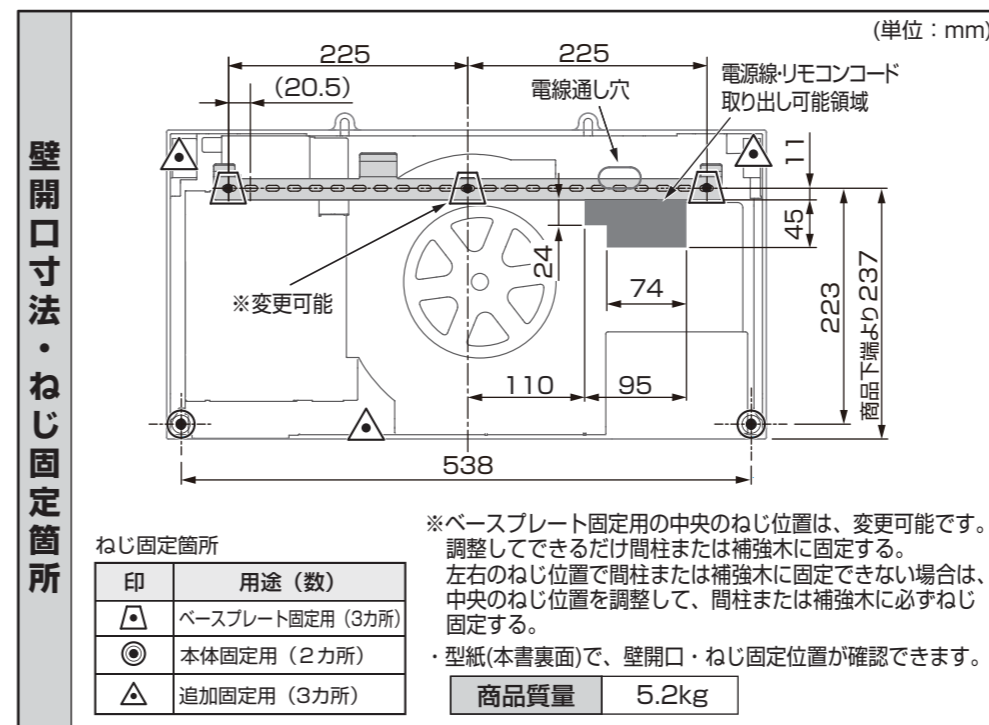
電源線の接続は確実に実行
不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

電源線(VVFケーブル)は、先端をそろえ端子台に確実に差し込み
差し込みが不十分だと火災の原因になります。

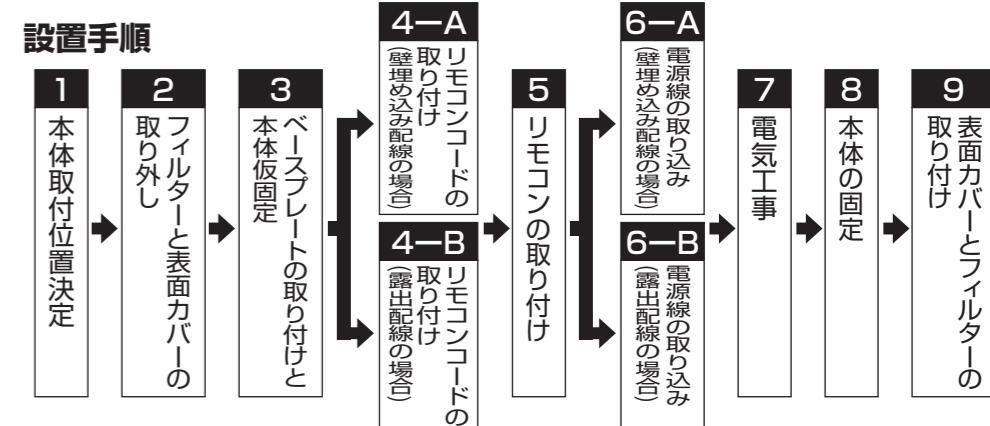
5 同梱部品の確認 (不足しているものがないか確認してください)

本体	ベースプレート	リモコン	リモコンコード
フィルター (2個)	本体取付ねじ (1個)	リモコン (1個)	3m (1本)
	※BF型の場合同梱されません	リモコン取付ねじ φ4.1×16 (2本)	取扱説明書 (1部)
			設置説明書(本書) (1部)

6 外形寸法



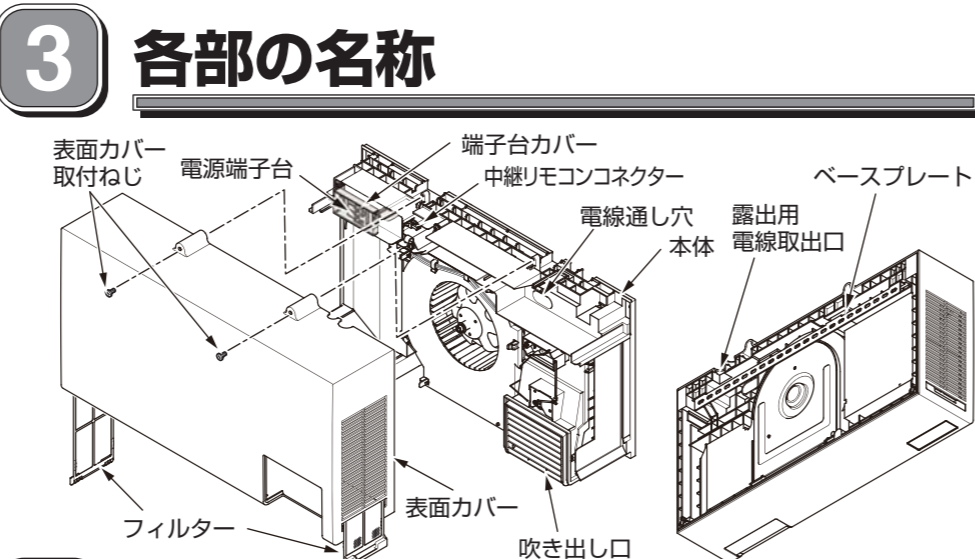
7 設置方法



警告	
電源線はクランプで確実に固定する	
クランプで固定しない場合、電線接続部に負荷がかかり火災の原因になります。	
必ず端子台カバーを取り付ける	
カバーを取り付けなかった場合、ほこりの蓄積などにより、火災の原因になります。	

注意	
運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない	
回転による傷害の原因になります。	
機器の取り付けは、設置説明書に基づいて行う	
商品質量に耐えるよう設置方法に従って取り付ける	
本体落下による傷害の原因になります。	
取付ねじは最後まで締め込む	
確実に固定しないと本体が落下してけがをしたり、破損する原因になります。	
設置するときは、手袋(軍手)を着用する	
けがの原因になります。	
壁や扉、他の電気製品に温風が直接当たらないようにする	
変色、変形、故障の原因になります。	

お願い	高温になる場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
	商品を洗面所以外の場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
	リモコンは浴室内には取り付けしないでください。故障の原因になります。
	本体設置工事と電気工事が異なる作業区分の場合、設置説明書(本書)および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡しください。
3 各部の名称	同梱以外のリモコンは、設置方法が異なります。詳しくは各リモコンの設置説明書をご覧ください。
	工事の際に商品本体、リモコン内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。
	電源は単相AC200Vを接続してください。AC100Vを印加するとリモコンの暖房「弱」ランプが点滅表示され作動しません。



4 現場手配品の確認

下記部品は現場にて手配してください。

電源用電線	VVFケーブルφ2.0	適量	電気工専用
アース線	銅線φ1.6以上	適量	アース工専用
アース棒		適量	アース工専用
スイッチボックス	1連用	1個	リモコン用 スwitchボックス取付用ねじ(2本)も現場手配
露出スイッチボックス	1連用	1個	リモコンコードを露出配線する場合 露出スイッチボックス取付用ねじも現場手配
タッピンねじ4×35(トラス、1個)	TOTO品番 TYHK102型	適量	本体に追加固定をする場合
アンカープラグ		適量	本体取付ねじを間柱または補強木以外に取り付ける場合 (壁材に合わせて手配)

1. 本体取付位置決定

設置条件 壁面に本体取付可能な平たん部があること。また設置やメンテナンスを妨げる障害物がないこと。温風吹き出し方向に障害物がないこと。商品の側面と壁との距離を50mm以上あけること。

斜線の範囲が平たん部であること。
※商品下端1700以上となるよう設置してください。

- ・上図の位置で、ベースプレートの左右もしくは中央の少なくとも1カ所の取付穴が間柱または補強木の位置となるよう取り付けてください。
- ・型紙(本書裏面)を使って、取付位置を決めることができます。

型紙の使いかた
本書裏面を以下のように合わせて使用してください
本書 下端 = 商品下端高さ
本書 中心線 = 商品中心
本書の下端を 商品下端高さに合わせて

2. フィルターと表面カバーの取り外し

- (1) 表面カバーから、フィルター(2個)を取り外す。
- (2) 表面カバー取付ねじ(2本)を取り外す。
- (3) 本体から表面カバーを取り外す。

手掛り部に指を差し込み持ち上げながら手前へ引く

3. ベースプレートの取り付けと本体仮固定

- (1) 水準器を当て水平レベルを確認しながら、ベースプレートのねじ固定位置(3カ所)をけがく。ねじ1本あたりの引き抜き強度を1000N以上確保するために、間柱または補強木に必ず固定してください。
- (2) ベースプレートを本体取付ねじ(φ4×35、3本)で固定する。
- (3) 本体をベースプレートに取り付ける。
- (4) 水準器を当て水平レベルを確認しながら、本体取付ねじの固定位置(2カ所)をけがく。

※間柱または補強木に固定できない箇所は、壁材に応じたアンカー(市販品)などを使って固定する。
※間柱または補強木に固定できない場合は、壁材に応じたアンカー(市販品)などを使って固定する。

注意
禁止 本体仮固定は一時的な固定なので、仮固定のまま放置しない本体が落下してけがをしたり、破損する原因になります。

裏面の「リモコン取り付け時の注意点」へつづく

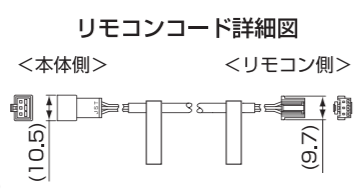
リモコン取り付け時の注意点

同梱以外のリモコンを設置する場合は、各リモコンの設置説明書をご覧ください。

商品に付属しているリモコンコードの長さは3mです。

※リモコンコードの長さが足りない場合は、6mのリモコンコード(別売品:TYHK203型)をご使用ください。

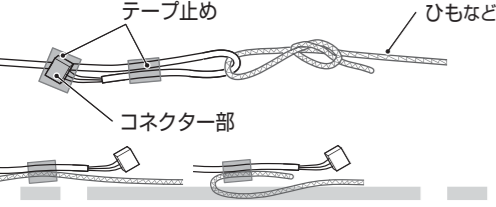
リモコン内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。



リモコンコード引き回し時の注意

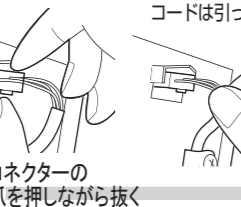
コネクター部を保護すること

断線やコネクター破損のおそれがあります。



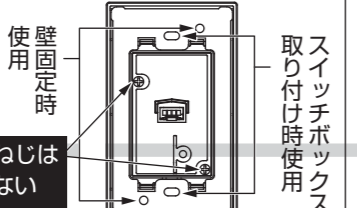
抜き差し注意

必ずコネクターを持って行うこと



お願い

- ・リモコンを確実に取り付けると動作不良の原因になります。
- ・フレームを壁固定するときは、必ず手締めで行うこと電動ドライバーなどで強く締め付けると破損の原因になります。
- ・リモコンコードの断線に注意する
- ・リモコン裏に付いているねじは外さない
- ・スイッチボックス等に取り付ける場合は、ねじを締めすぎないフレームが変形してリモコンがうまく取り付けられなくなったり、リモコンと壁のすき間が大きくなる原因になります。



リモコンと壁のすき間が大きくなり過ぎたときは、締め付け量を調整してください。

4-A. リモコンコードの取り付け(壁埋め込み配線の場合)

- (1) 壁の電源線・リモコンコード取り出し可能領域※の内側に開口を行う。

壁開口寸法 $\phi 15$ 以上

(※ 6 外形寸法の「壁開口寸法ねじ固定箇所」を参照)

タッピン
ねじ位置
(変更不可)

5. リモコンの取り付け

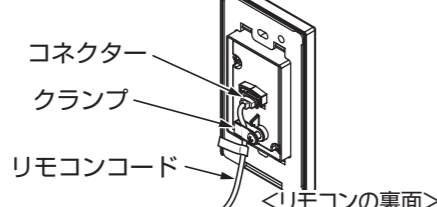
- (1) リモコンからフレームを取り外す。



- (2) フレームにリモコンコードを通し、上下を確認のうえ、フレームをリモコン取付ねじ($\phi 4.1 \times 16$ 、2本)で壁または露出スイッチボックスに固定する。

リモコン取付ねじ $\phi 4.1 \times 16$
リモコンコード

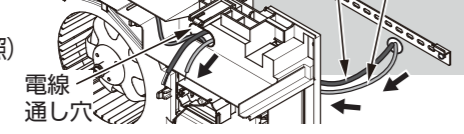
- (3) リモコンのコネクターにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定する。



6-A. 電源線の取り込み(壁埋め込み配線の場合)

- (1) 壁の電源線・リモコンコード取り出し可能領域※の内側に開口を行い、電源線(VVFケーブル $\phi 2$ mm)およびアース線($\phi 1.6 \sim 2$ mm)を、壁開口まで配線する。

(※ 6 外形寸法の「壁開口寸法ねじ固定箇所」を参照)

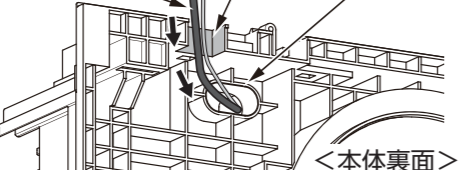


- (2) 電源線およびアース線を、本体の電線通し穴より本体内部に引き込む。

電線通し穴

6-B. 電源線の取り込み(露出配線の場合)

- (1) 電源線(VVFケーブル $\phi 2$ mm)およびアース線($\phi 1.6 \sim 2$ mm)を、本体裏面の露出用電線取出口および電線通し穴から本体内部に引き込む。



タッピン
ねじ位置

4-A. リモコンコードの取り付け(壁埋め込み配線の場合)のつづき

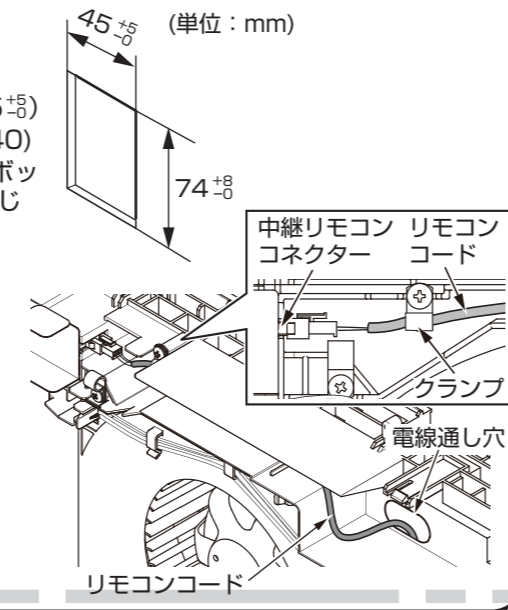
- (2) リモコン取付位置の壁に開口を行う。
壁開口寸法 $\cdot \cdot H74 \times W45$
(開口誤差範囲H74 ± 5 、W45 ± 5)

※1連用スイッチボックス(JIS C 8340)も利用できます。ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

- (3) リモコンコードを本体の電線通し穴に通し、リモコン取付位置まで壁裏配線する。

※リモコンコードを配管に通すときは、 $\phi 15$ 以上の配管に通してください。

- (4) 本体の中継リモコンコネクターにリモコンコードを接続し、クランプでリモコンコードを固定する。



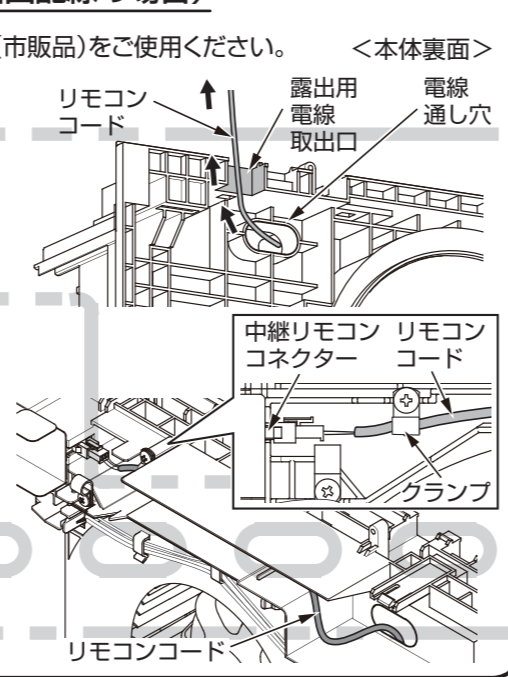
4-B. リモコンコードの取り付け(露出配線の場合)

露出配線する場合は、露出スイッチボックス(市販品)をご使用ください。

- (1) リモコンコードを本体の電線通し穴に通し、本体裏面の露出用電線取出口より取り出す。

- (2) 本体の中継リモコンコネクターにリモコンコードを接続し、クランプでリモコンコードを固定する。

- (3) リモコンコードをリモコン取付位置まで配線し、壁に露出スイッチボックス(市販品)を固定する。



タッピン
ねじ位置
(変更不可)

7. 電気工事

- (1) 端子台カバーを取り外す。

- (2) 電源線(VVFケーブル $\phi 2$ mm)およびアース線($\phi 1.6$ mm $\sim \phi 2$ mm)を電源端子台に接続する。

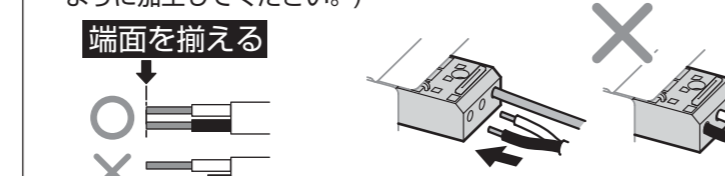
重要 電源端子台への接続について

・各々の芯線が真っすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を「グツ」と奥まで確実に差し込む。

確実に差し込む

接続後、電源線の芯線が右図のように差し込まれていることを再度、目視で確認する

- ・電源線の芯線2本が均一になるように加工する。
- ・端子台に芯線を先端が十分に差し込まれない場合(端子台の手前で均一になるように加工してください。)
- ・端子台の近くで大きく曲げない。
- ・先端が十分に差し込まれない場合があります。
- ・先端は絶対に曲げない



・電源線を外すときは、右記部を電工マイナスドライバーで強く押ししてください。

警告

電源線(VVFケーブル)は、先端をそろえ端子台に確実に差し込み、差し込みが不十分だと火災の原因になります。また、端子台内部の発熱により端子台が故障し、リモコンの暖房「強」ランプが点滅表示され、エラーとなる場合があります。その場合は電源ブレーカーを切って、修理を依頼してください。

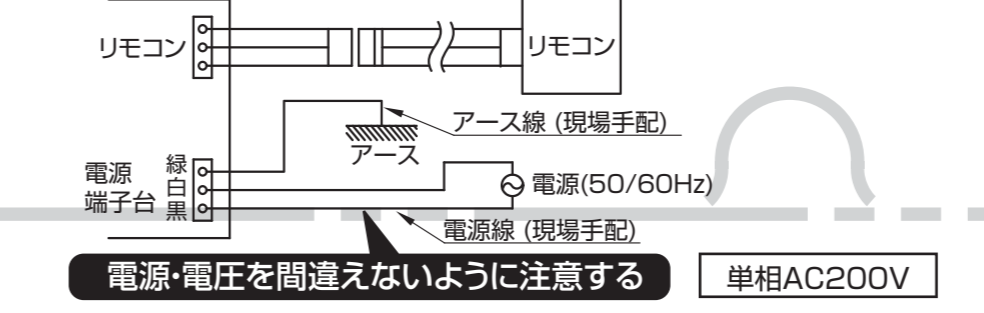
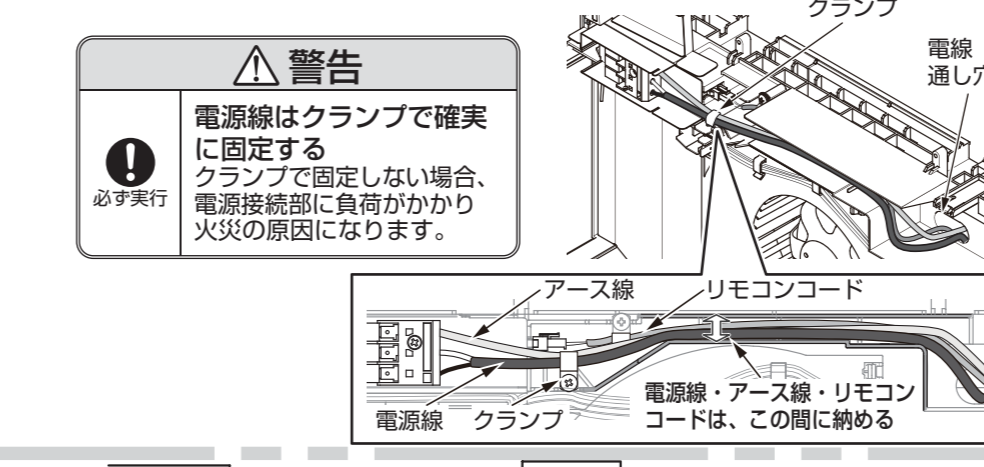
電源線は $\phi 2$ mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続するより線は使用しない。不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

必ず実行

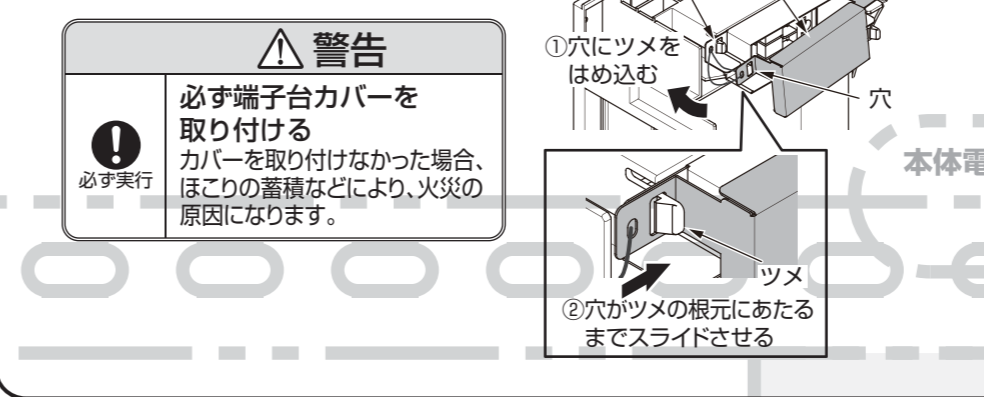
7. 電気工事のつづき

- ・専用のブレーカー(20A)を取り付けてください。また漏電遮断器を取り付けてください。
- ・専用の漏電遮断器を取り付ける場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのもをおすすめします。
- ・アースはD種接地工事を行ってください。

- (3) 電源線およびアース線を本体のクランプで固定する。



- (4) 端子台カバーを取り付ける。



タッピン
ねじ位置
(変更不可)

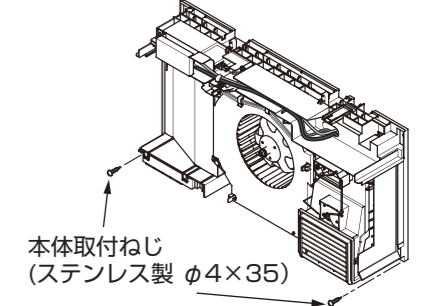
8. 本体の固定

水準器を当て水平レベルを確認しながら、本体を本体取付ねじ($\phi 4 \times 35$ 、2本)で固定する。

※間柱または補強木に固定できない場合は、壁材に応じたアンカー(市販品)などを使って固定する。

※本体と壁のすき間が気になる場合は、タッピンねじ 4×35 (別売品:TYHK102型)、または市販のステンレス製トラスタッピンねじ1種($\phi 4 \times 35$)を用いて追加固定してください。(ステンレス製 $\phi 4 \times 35$)

(6 外形寸法の「追加固定用」ねじ固定箇所を参照)



9. 表面カバーとフィルターの取り付け

- (1) 本体に表面カバーを取り付ける。

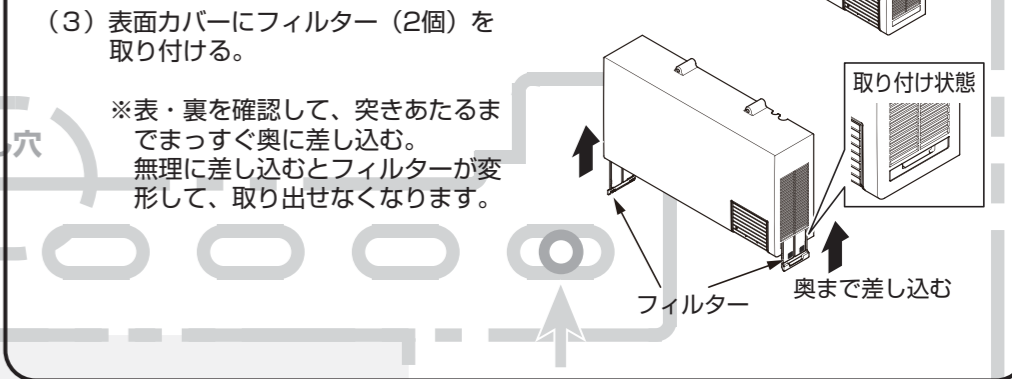
正面からまっすぐ差し込む

30mm以上
空間確保

- (2) 本体と表面カバーを表面カバー取付ねじ($\phi 4 \times 10$ 、2本)で固定する。

- (3) 表面カバーにフィルター(2個)を取り付ける。

※表・裏を確認して、突きあたるまでまっすぐ奥に差し込む。無理に差し込むとフィルターが変形して、取り出せなくなります。



タッピン
ねじ位置
(変更不可)

8 試運転

同梱以外のリモコンを設置した場合は、各リモコンの設置説明書をご覧ください。

設置が完了したら、再度結線などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実に完了しているか確認してください。

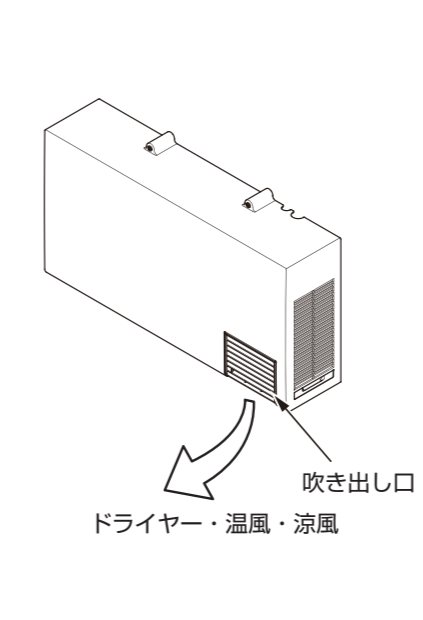
※電源を投入すると、自動で約30秒間ファンが動作します。これは初期動作であり故障ではありません。

注意
運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない。回転による傷害の原因になります。

お願い
・試運転の前にフィルターに付着したほこり・ゴミなどを取り除いてください。風量が少ない、騒音が大きいか性能低下の原因となります。
・試運転の際は表面カバーを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因になります。

1. 動作の確認

- (1) ドライヤー
 - ・ドライヤーを押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。
 - ・正を押して停止させる。
- (2) 暖房
 - ・暖房を押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。
 - ・正を押して停止させる。
- (3) 涼風
 - ・涼風を押して吹き出し口から風が出ていることを確認する。
 - 最後に 正を押して涼風運転を停止させる。



・ドライヤーや暖房運転の開始後、すぐには温風は出ません。徐々に温度が上がっていきます。運転停止後はヒーター冷却のため約20秒間ファンが動作し、その後停止します。

タッピン
ねじ位置

2. 試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント
電源が入らない	本体に電源単相AC200Vを確実に接続していますか? →確実に接続してください。 ⑦ 7. 電気工事」を参照してください。 リモコンコードとリモコンを確実に接続していますか? →確実に接続してください。 ⑦ 4. リモコンコードの取り付けおよび 5. リモコンの取り付け」を参照してください。
異常音が出る	リモコンコードを設置中に切断していませんか? →誤って切断した場合は、部品交換してください。 分電盤のブレーカーに電源線を確実に接続し、ブレーカーを「入」にしていますか? →確実に接続し、ブレーカーを「入」にしてください。 本体をしっかりと壁に取り付けていますか? →しっかりと固定してください。 ⑦ 8. 本体の固定」を参照してください。 ファンに異物が詰まっていますか? →異物を取り除いてください。 表面カバーが電線をかみ込んで浮いていませんか? →内部の電線が表面カバーに当たらないよう整線し直してください。 ※スイッチを押したときに「カチッ」と音がするのはリレーの動作音です。故障ではありません。
リモコンの「暖房ランプ」表示	AC100Vが接続されていませんか? →単相AC200Vを接続してください。 上記の処置を行い、電源ブレーカーを切り、60秒以上たってから、再度電源ブレーカーを入れてください。それでも直らない場合は運転を停止し、電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。 電源接続が不十分のため温度ヒューズが溶断した可能性があります。 →電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。
	本体に対応したリモコンが正しく取り付けられていますか? →リモコンコードが正しく接続されているか確認してください。

試運転のあとは

■工事店様へ
設置後は、同梱の「取扱説明書(保証書付)」をお客様にお渡ししてから、商品の使いかたとフィルターの着脱方法を説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。

タッピン
ねじ位置